

科目コード	記号	科目名		
3220	MS22	情報処理応用Ⅰ:Applied Information ProcessingⅠ		
教員名		三好十武士：TOMUJI Miyosi		
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
5M	1・100分	必修	講義・前期	学修単位
授業概要	変数の型、制御構造、関数の概念を理解し、手続き型言語によるプログラミングの基礎について学ぶ。また、演習時間を多めに取り、実践的に理解をふかめる。プログラミング言語にはC言語を用いる。			
	到達目標		評価方法	
(1)C言語の文法を理解できること。 (2)変数の型、制御構造、関数、配列について理解できること。 (3)基本的なプログラムが書けるようになること。			① 中間試験、②期末試験、③演習で評価する。評価配分は、中間、期末ごとに演習30%、定期試験70%とし、中間と期末で平均する。	
学習・教育目標		(B) ①	JABEE基準1(1)	(c)
前期				
授業計画	回	項目	内 容	
	第1	データの型	データの型、サイズ(表現できる範囲)について説明する。	
	第2	変数	変数の種類、有効範囲について学習する。	
	第3	演算子	基本的な演算子とその優先順位について説明する。	
	第4	演習(1)	変数の定義、簡単な演算の演習。	
	第5	if 文	if 文の使い方を説明する。	
	第6	for文	for 文の使用方を説明する。	
	第7	while文	while 文の使用方を説明する。	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	関数(1)	関数の基本について説明する。	
	第10	関数(2)	再起呼出等について説明する。	
	第11	演習(2)	関数についての演習。	
	第12	配列(1)	配列の基礎について説明する。	
	第13	配列(2)	配列の応用について説明する。	
	第14	配列(2)	配列の応用として文字列について説明する。	
	第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
関連科目		情報処理Ⅰ・Ⅱ		
教科書		C言語入門(Les Hancock他、アスキー出版局)		
参考書		プログラミング言語(カーニハン、リッチー他、共立出版)		
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員		小川 寿：HISASI Ogawa		
備考				